

【レポート】

慢性的な人手不足の中、自分達の職場環境を整えることが職場環境の改善と提供するサービスの向上にもつながると考えて取り組んだ隠岐広域連合職員組合の奉仕活動について紹介します。

隠岐広域連合職員組合の取り組みについて

— 職場環境改善と地域貢献をやろう！ —

島根県本部／隠岐広域連合職員組合

1. はじめに

隠岐諸島は島根半島の北方70kmの日本海に点在する4つの島から構成されており、雄大な景観や不思議な生態系だけでなく、隠岐ならではの歴史・文化が評価を受けユネスコ世界ジオパークから認定されています。隠岐の島町は4つの島の中で最も大きい島である島後（どうご）に位置しています。雄大な自然環境と豊かな文化遺産を持つ一方で、隠岐の島町の人口は約13,000人、高齢化率は日本の高齢化率が約30%、島根県が約35%であるのに対して40%を超えており、高齢化率の高さと医療従事者の不足が大きな課題となっています。

隠岐広域連合は、離島航路事業、隠岐圏域の介護保険事業、消防事業と隠岐病院や仁万の里といった様々な事業を行っています。その中で隠岐病院は島後島内唯一の入院及び救急機能を有している病院となります。病床数は一般病床91床、精神科病床22床、感染症病床2床、計115床の規模で診療科は18診療科を標榜しており、2次医療圏である隠岐圏域の拠点病院という地域の中核病院として役割を担っています。そのため医療ニーズが高く、島内で完結できる医療を継続し続けることは島民の生命だけでなく、経済的な負担の軽減にも繋がります。しかし、医師や看護師だけでなく医療支援職を含む多くの職種で慢性的な人手不足に直面しており、医療の高度化が伴うことで業務負担を増大させ、提供する医療サービスの質の維持に影響を及ぼしかねない状況にあります。この様な苦しい現状を乗り越えるためにも職員組合の団結力と取り組みが重要な役割を果たすと考えています。

隠岐広域連合職員組合の多くは隠岐病院で働く職員です。現在166人の組合員が所属しています。そして、隠岐広域連合職員組合には青年部、女性部、臨時職員部、壮年部の4つの部会があります。今回は隠岐病院のような小規模の病院が地域医療体制を充実させるという大きな課題に対して日々、苦戦をしいられている中、職員組合として行っている20年以上も継続している小さな取り組みについて壮年部と女性部の活動を紹介します。



2. 活動報告

(1) 壮年部の活動

壮年部は毎年冬になると除雪作業を行っています。これは積雪がひどい場合、除雪車により集められた雪が駐車場の空きスペースには収まらず、患者様や職員が使用する駐車スペースが減少するため、駐車スペースに集められた雪を撤去する必要があるからです。隠岐病院の外来患者数は、全国の同規模の入院病床を有した病院と比べて2倍以上の1日当たり500人程度の受診があり、公共交通機関が充実していないため、ほとんどの患者様と職員は自家用車を使用しています。そのため、駐車スペースの確保は非常に重要です。

活動は、事前にダンプを調達し、休日にスコップなどを持って集まり行われます。除雪車により集められた雪は押し固められており、非常に固く重たいため、除雪作業は体力を要するものです。特に、36歳以上のベテラン職員が中心の壮年部にとっては、体力的にもきつい作業となります。しかし、壮年部ならではの老獪なトークや冗談が周囲を鼓舞し普段の業務では関わるのが少ない職員同士が交流を深めながら楽しく活動することができています。

このように、自然に雪が溶けるのを待つことなく駐車スペースを確保することで、病院の機能を支え、患者様や職員の不便を軽減できた壮年部の除雪活動は、外見上は地味ながらも、患者様や職員にとって大変意義深いものであったと思います。



除雪作業①



除雪作業②



除雪作業③



除雪作業④



除雪作業⑤



除雪後

(2) 女性部の活動

女性部は、隠岐広域連合本部および仁万の里の窓ふき清掃と、隠岐病院の車椅子、シルバーカー、歩行器の拭き掃除を行っています。

窓ふき清掃は、日頃掃除が行き届かない細かい部分まで丁寧に拭くことで、清潔感を取り戻し、来庁者が気持ちよく出入りできるようになりました。

また、車椅子などの清掃は約30人の参加者で行われ、外来から各病棟まで、患者さんが使用される備品の清掃作業に取り組んでいます。部署ごとに作業を進め、終わったら他の部署を手伝うことで、協力して短時間で作業を終えることができました。

この活動は、備品を清潔で気持ちよく使用できる状態に保つことができるだけでなく、清掃活動を通じて備品の故障箇所を発見し、患者様の安全確保にも繋がっています。これにより、患者様がより安全で快適に備品を使用できるようになりました。

女性部のこのような環境整備活動は、見た目の清潔さだけでなく、患者さんや来庁者の快適さ、安全性の向上に大きく貢献できたのではないかと思います。



窓ふき（仁万の里）



窓ふき（隠岐広域連合本部）



車椅子清掃（隠岐病院①）



車椅子清掃（隠岐病院②）

3. まとめ

これらの活動は、単に職場環境を整える事が自分達のためだけでなく、地域住民に対する病院サービスの質を向上させることにつながっていると考えます。清潔で利用しやすい環境は、自分達が働きやすいだけでなく、患者様や来庁者にとってのストレスを減少させ、病院への信頼感を高めると思います。

また、隠岐病院のように人・ものが限られた小規模の病院が地域の中核医療を担っていくには地域住民の理解は非常に重要です。職員が一丸となって環境整備に取り組む姿勢は、地域の中核病院である責任感と奉仕の精神を地域住民に理解していただくきっかけにもなり、病院と地域住民との間に良好な関係を築く基盤となるのではないかと思います。

最後に清掃や整頓といった活動は清潔、整理を合わせると職場の4 S活動とも言われ、様々な分野で行われる活動です。この活動の重要な点は綺麗にする事だけで無く、職場の保守管理やメンテナンスにつながる事です。活動に参加できないほど疲労している職場は無いか、利用する人や患者さんが怪我等をするような状況が放置されていないか、全ては「気づく」事が重要です。その「気づき」を生み出すためには清掃活動のような地味ではありますが、基本的な取り組みが重要になります。

今後も隠岐病院の職員として、また組合員として地域に貢献できるよう組合活動を続けていきたいと考えています。